

芽室町営水泳プール等整備事業について

1. 事業手法

DBO（デザイン・ビルド・オペレート）方式

2. 事業者

オークめむろ

代表者 株式会社オカモト

調査設計・工事監理 株式会社創造設計舎・株式会社アトリエブंक

建設・解体工事 宮坂建設工業株式会社・川田工業株式会社・鍵谷建設株式会社

運営・維持管理 株式会社オカモト・芽室ビル管理株式会社・十勝広域森林組合

3. 事業対象となる公共施設の種類の種類

水泳プール

総合体育館

社会体育施設等（勤労青少年ホーム・既存水泳プール）

4. スケジュール

令和3年度 調査・設計

令和4年度 新設プール建設工事、勤労青少年ホーム改修工事、外構工事

関連条例等改正

総合体育館改修設計

令和5年度 4月1日新設プール・（仮）つなぐ棟（勤労青少年ホーム）供用開始

外構工事、既存水泳プール解体工事

総合体育館改修工事

5. 進捗状況

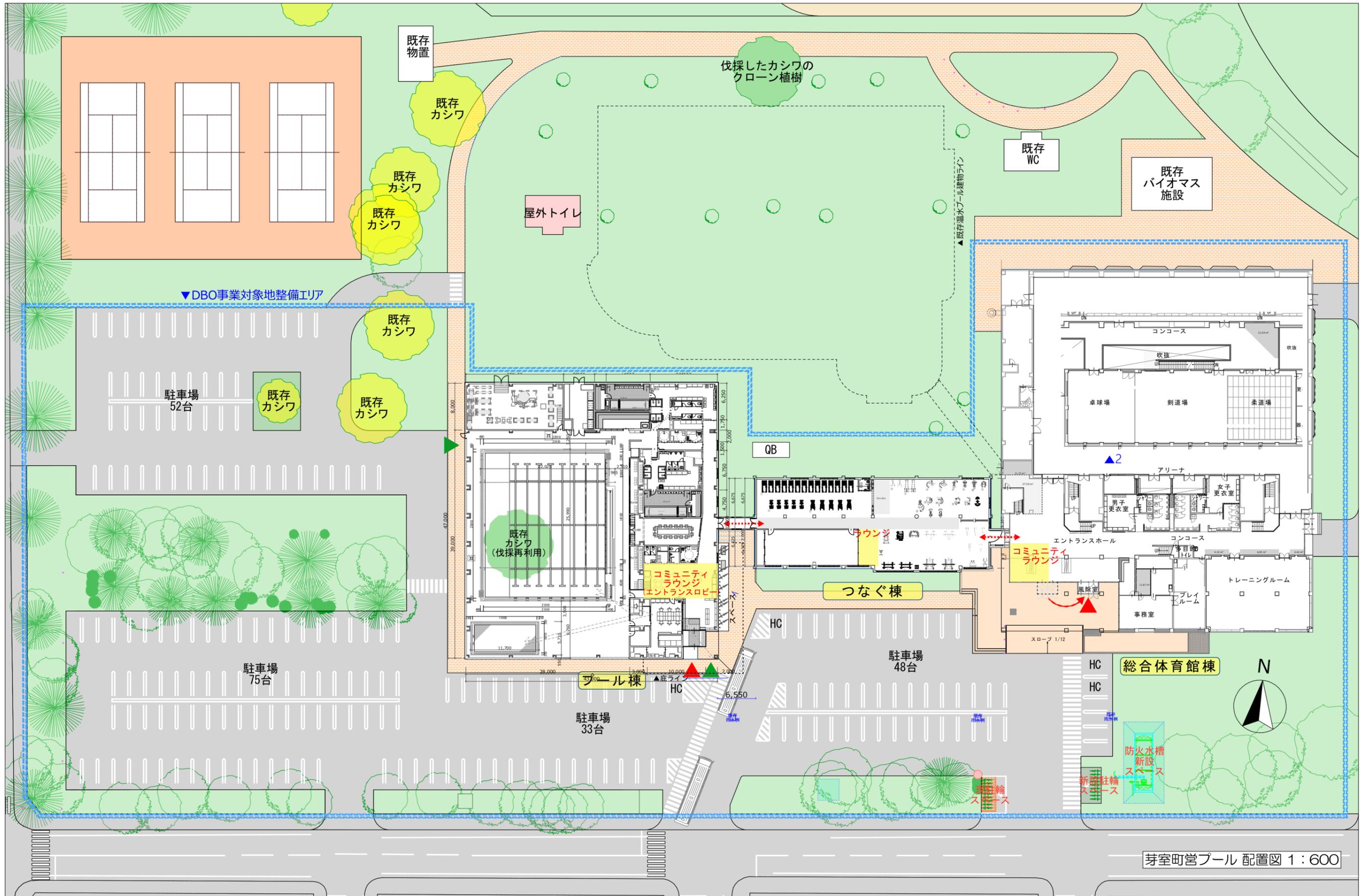
芽室町営水泳プール等整備運営事業協議会（設計者、施工者、運営維持管理者、町により構成。以下「協議会」といいます。）により月に1回の定例会議及び、分科会（随時開催）において、それぞれの視点から意見交換を行い、設計の検討を進めています。

現時点での設計は資料 2 - 2 のとおりです。

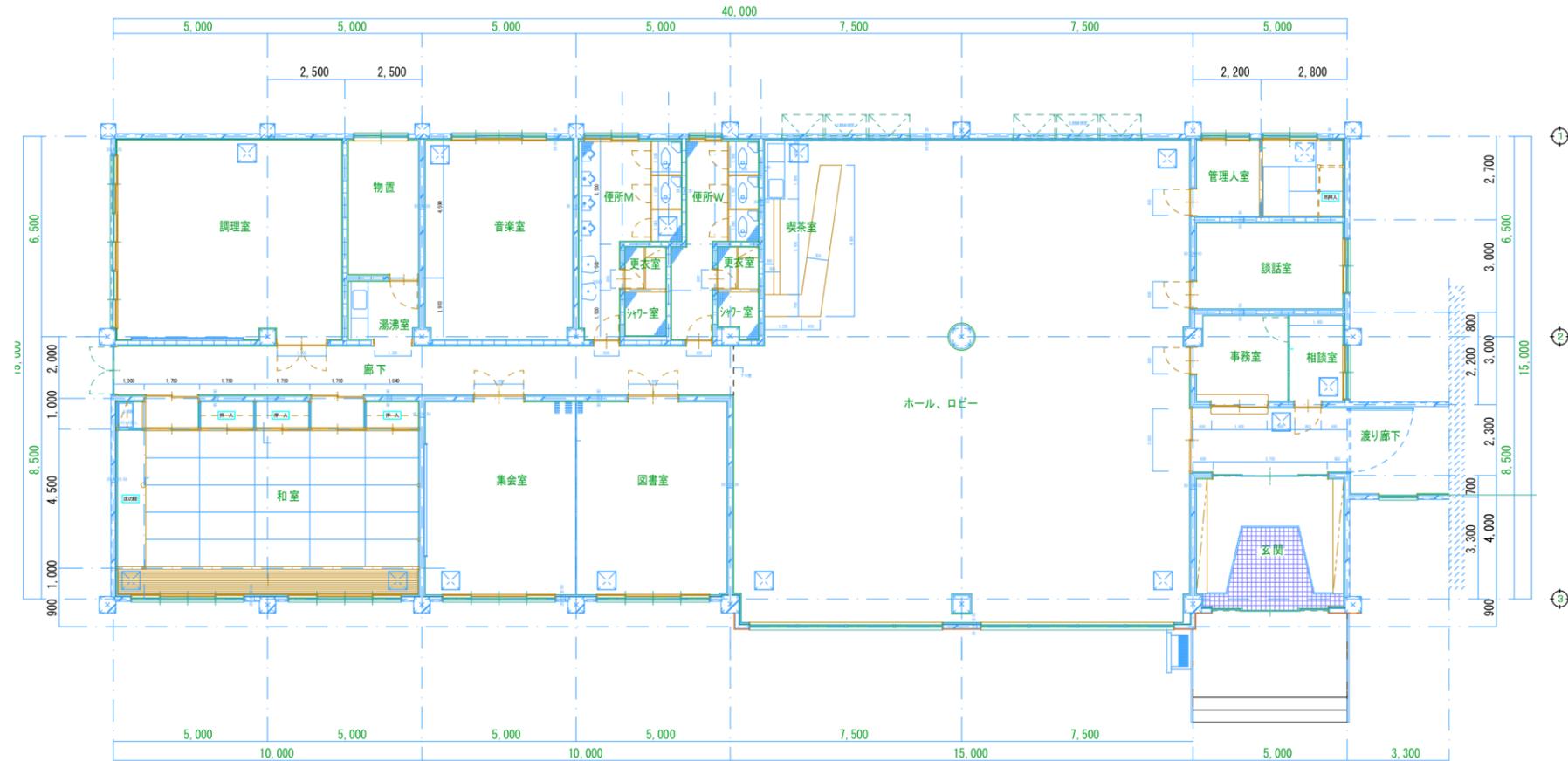
6. 事業における課題と解決に向けた方向性

下記の課題について事業者からの提案をもとに協議会での協議を進めています。町営水泳等整備事業及び総合体育館の改修において解決を検討していきたい考えです。

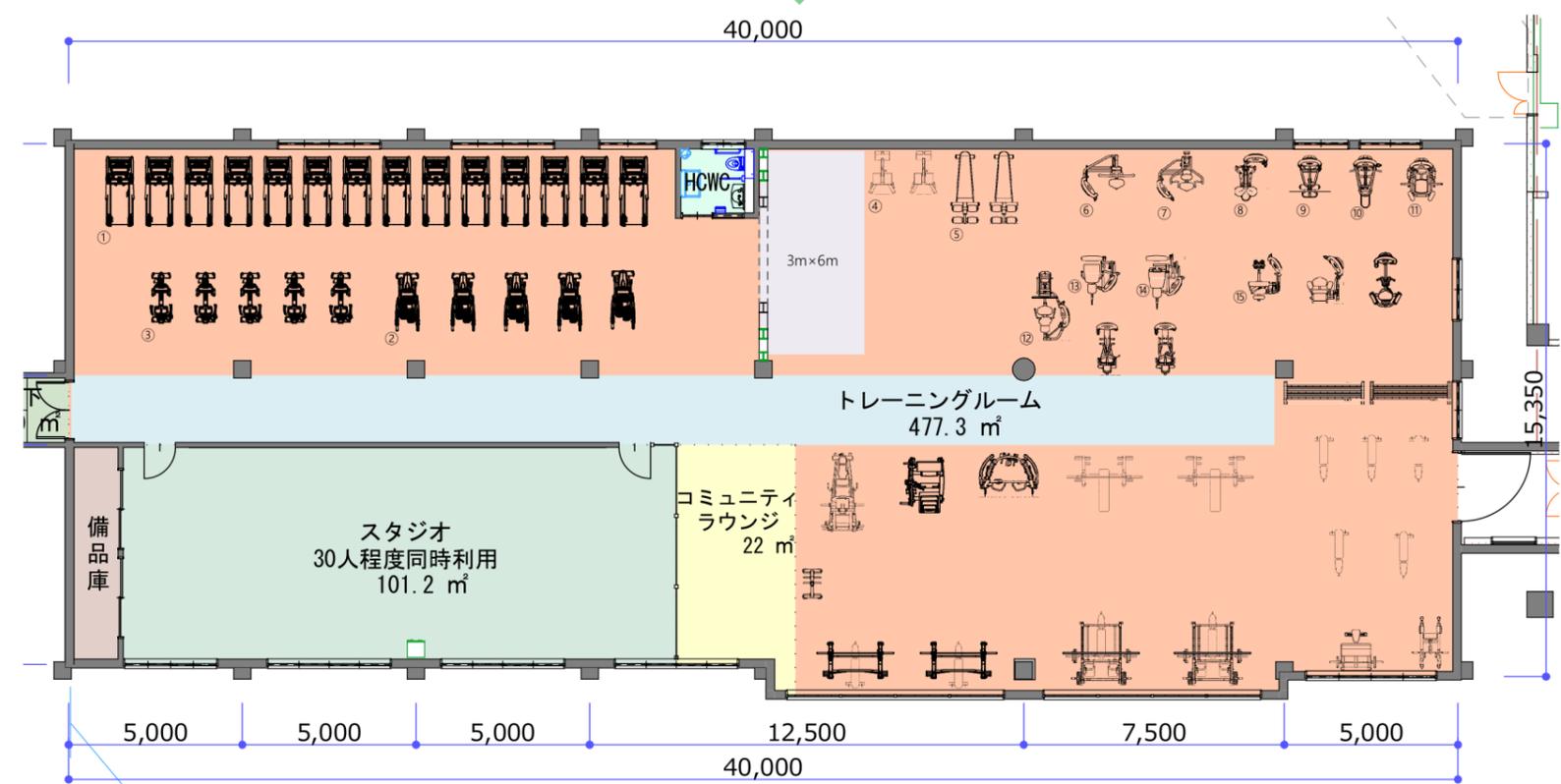
- ① 町民等から意見のある幅広い年代における健康増進機能の整理（特に冬期間）
 - 低負荷から高負荷まで対応可能な運動機械の充実
健康維持から筋力強化のニーズに対応する機器を充実させることを検討しています。
 - 子どもの遊びと運動機会の提供
通年を通じて提供でき、子ども（特に未就学児）の運動を通じた遊びの場の提供をすることを検討しています。
- ② コミュニティ・会議機能と体育施設の共存のあり方
 - 会議機能と運動機能の分散
当初、町が求めていた要求水準を満たすには、会議機能とトレーニング・スタジオが隣接することになりますが、分散させることで双方の利用者にとって使いやすい施設を検討しています。
- ③ スポーツ振興に係る展示コーナーの設置
 - 町出身者のスポーツに係る展示・情報公開
健康プラザにはゲートボールの歴史を展示していますが、その他のスポーツにおける展示・情報の公開を検討しています。
- ④ 一体運用する施設の老朽化
 - 総合体育館の老朽化
（仮）つなぐ棟により新設プールと繋がる総合体育館は、昭和53年築であり、平成24年度の耐震改修工事を実施しているものの、電気・設備等更新時期を迎えています。
- ⑤ 事業範囲内にある芽室公園内のカシワの木
 - 新設プール建設位置にある既存カシワの木の伐採
芽室遺産である芽室公園内のカシワについては、極力伐採をしない計画としていますが、施設間連携を考慮すると支障となるカシワの木が1本あります。伐採後にはクローン植樹及び伐採したカシワの加工利用について検討しています。



芽室町営プール 配置図 1 : 600



既存平面図 1 : 200



改修後平面図 1 : 200